

BUSINESS REPORT

へんしもの

第41期 第2四半期 [平成23年4月1日～平成23年9月30日]

フジテレビ系「ほこ×たて」放映
風量125m³/min パワープロベスター (TT-13BWP)



兼松エンジニアリング株式会社

証券コード：6402

代表取締役会長
山本 吾一代表取締役社長
山口 隆士

CONTENTS

- 1 ごあいさつ
- 2 財務ハイライト
- 3~4 財務諸表
- 5~6 事業概要
- 7~9 トピックス
- 10 会社情報

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

先般の東日本大震災により被災されました皆様に対しましては、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

この度、第41期第2四半期決算のご報告として「BUSINESS REPORT へんしも」を、お届けいたします。

【中期経営計画・第41期全社活動方針】

当期は、中期経営計画(3ヵ年)「未来への創造」の中間年度であり、重点実施項目としまして、

1. 顧客満足のレベルアップ

品質の向上、技術力のアップ、環境を重視した企業活動

2. 海外展開の推進

中国プロジェクト、東南アジア戦略、体制の充実

3. 新製品・新技術・新市場の開発

マイクロ波抽出装置、製品のレベルアップ・省エネ化、新市場の開拓に取り組んでおります。

株主の皆様におかれましては、相変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年11月

[営業の概況等]

当第2四半期における我が国経済は、東日本大震災による落ち込みからゆるやかに持ち直しつつありますが、円高の長期化、欧州の信用不安増大等の影響で先行き不透明な状況が継続しております。

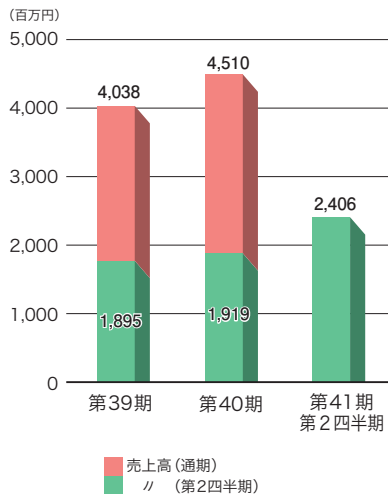
当社では、東日本大震災の影響により、シャーシの搬入が不安定な状況にありましたが、7月以降に供給が正常化したことにより、当社も生産体制を強化し、納期遅れへの対応や、中型車ポスト新長期排出ガス規制実施前の買替需要への対応を進めてまいりました。この結果、売上高・利益ともに前第2四半期を上回ることができました。

また当第2四半期は、製鉄・製鋼所向けの作業車や、大震災の復旧・復興に向けた強力吸引作業車及び高圧洗浄

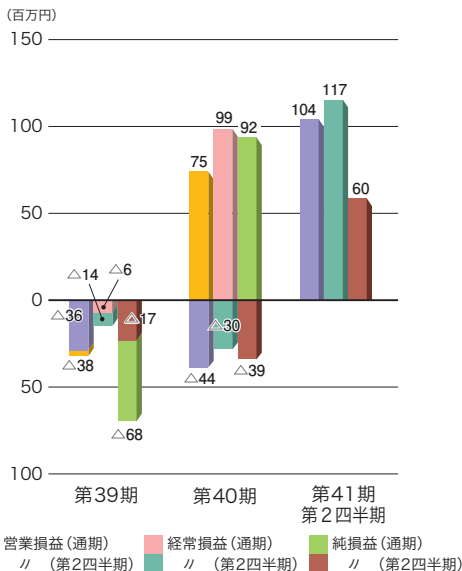
車の受注が増加しております。特殊製品でも、高速道路会社及び官公庁向け「水循環式排水管清掃車」5台、柑橘類果皮から精油を採る「マイクロ波抽出装置」4台等の受注があり、受注高・受注残高は前第2四半期に比べて増加しております。

業績(数値)につきましては、前第2四半期に比べ受注高は1,072百万円増の3,420百万円(前年同四半期比45.7%増)、売上高は486百万円増の2,406百万円(前年同四半期比25.3%増)となりました。損益につきましては、営業利益は104百万円(前年同四半期は営業損失44百万円)、経常利益は117百万円(前年同四半期は経常損失30百万円)、四半期純利益は60百万円(前年同四半期は四半期純損失39百万円)を計上することとなりました。

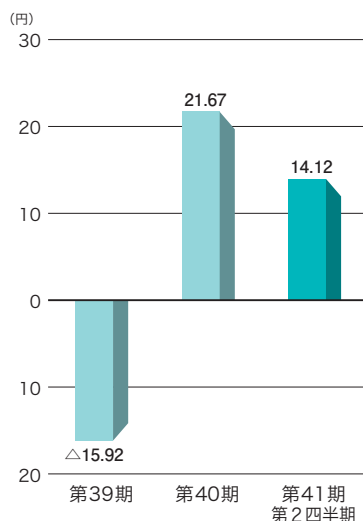
●売上高



●営業損益・経常損益・純損益



●1株当たり純損益



●貸借対照表

(単位:千円)

| 科 目 | 当第2四半期末 (平成23年9月30日) | 前 期 末 (平成23年3月31日) | 増 減 (△印減) |
|----------------|-------------------------|-----------------------|--------------|
| (資産の部) | | | |
| 流動資産 | 2,877,110 | 2,531,216 | 345,894 |
| 固定資産 | 2,062,209 | 2,061,587 | 622 |
| 有形固定資産 | 1,770,095 | 1,776,165 | △6,070 |
| 無形固定資産 | 8,996 | 10,043 | △1,047 |
| 投資その他の資産 | 283,117 | 275,378 | 7,739 |
| 資産合計 | 4,939,320 | 4,592,803 | 346,516 |
| (負債の部) | | | |
| 流動負債 | 1,938,590 | 1,606,675 | 331,914 |
| 固定負債 | 371,099 | 369,046 | 2,052 |
| 負債合計 | 2,309,689 | 1,975,722 | 333,966 |
| (純資産の部) | | | |
| 株主資本 | 2,625,035 | 2,615,982 | 9,053 |
| 資本金 | 313,700 | 313,700 | — |
| 資本剰余金 | 356,021 | 356,021 | — |
| 利益剰余金 | 1,957,088 | 1,948,034 | 9,053 |
| 自己株式 | △1,773 | △1,773 | — |
| 評価・換算差額等 | 4,594 | 1,098 | 3,496 |
| 純資産合計 | 2,629,630 | 2,617,081 | 12,549 |
| 負債純資産合計 | 4,939,320 | 4,592,803 | 346,516 |

資産の部

総資産は、前期末残高に比べ346百万円増加し、4,939百万円となりました。これは主に、現預金の減少221百万円はありましたが、たな卸資産の増加477百万円等によるものであります。

負債の部

負債は、前期末残高に比べ333百万円増加し、2,309百万円となりました。これは主に、仕入債務の増加311百万円等によるものであります。

純資産の部

純資産は、前期末残高に比べ12百万円増加し、2,629百万円となりました。これは主に、剰余金の配当51百万円はありましたが、四半期純利益の計上60百万円等によるものであります。

(注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

● 損益計算書

(単位:千円)

| 科 目 | 当第2四半期 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 前第2四半期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 増 減 (△印減) |
|------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|----------------|
| 売上高 | 2,406,289 | 1,919,892 | 486,397 |
| 売上原価 | 1,790,177 | 1,493,710 | 296,467 |
| 割賦販売未実現利益戻入額 | — | 3,275 | △ 3,275 |
| 売上総利益 | 616,112 | 429,457 | 186,654 |
| 販売費及び一般管理費 | 511,265 | 474,365 | 36,899 |
| 営業損益 | 104,846 | △ 44,908 | 149,755 |
| 営業外収益 | 13,089 | 16,075 | △ 2,986 |
| 営業外費用 | 425 | 1,945 | △ 1,520 |
| 経常損益 | 117,510 | △ 30,778 | 148,289 |
| 特別利益 | — | 1,036 | △ 1,036 |
| 特別損失 | 6,563 | 7,488 | △ 924 |
| 税引前四半期純損益 | 110,947 | △ 37,230 | 148,178 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 58,010 | 1,562 | 56,448 |
| 法人税等調整額 | △ 7,429 | 690 | △ 8,119 |
| 四半期純損益 | 60,365 | △ 39,483 | 99,849 |

売上高

当社主力製品の強力吸引作業車が前年同四半期比18.8%増の1,417百万円、汚泥吸引作業車が135.7%増の62百万円、高圧洗浄車が123.1%増の377百万円となり当第2四半期売上は、2,406百万円となりました。

四半期純損益

中型車ポスト新長期排出ガス規制による買替需要、東日本大震災からの復興需要等により売上が増加したため、四半期純利益60百万円を計上することができました。

● キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| 科 目 | 当第2四半期 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 前第2四半期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) |
|------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △ 154,879 | △ 14,215 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 55,339 | △ 63,690 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 58,093 | 22,763 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 1,131 | △ 898 |
| 現金及び現金同等物の減少額 | △ 269,443 | △ 56,041 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 474,352 | 342,630 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 204,909 | 286,589 |

(注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

● 平成24年3月期の業績予想

最近の業績動向を踏まえ、平成23年8月5日に公表しました業績予想を11月7日に下記のとおり上方修正いたしました。

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)(単位:百万円)

| 科 目 | 修正予想 | 当初予想 (8/5発表) | 増減額 | 増減率 (%) |
|-------|-------|-----------------|-----|------------|
| 売上高 | 5,500 | 4,802 | 698 | 14.5 |
| 営業利益 | 180 | 136 | 44 | 32.4 |
| 経常利益 | 203 | 155 | 48 | 31.0 |
| 当期純利益 | 117 | 93 | 24 | 25.8 |



当社は環境整備機器の製造販売を行っています。その中でも産業廃棄物処理関係が主体であり、各種製品の特徴及び売上推移は、次の通りです。

●強力吸引作業車・汚泥吸引作業車

売上高 1,480百万円

国内では大きなシェアを占め、産業廃棄物の収集運搬に用いられるとともに、様々な付加機能により用途を広げています。

〈用途〉

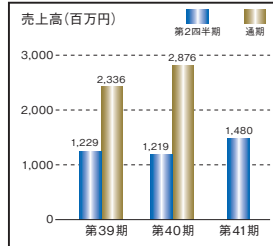
- 廃棄物の収集運搬
- 高深度地下の汚泥回収
- 粉粒体の長距離吸引



強力吸引作業車(ST-13BW)



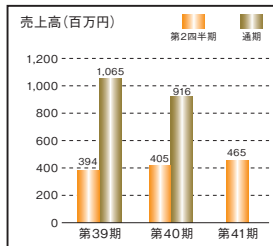
乾式吸引作業車(NS-04CVP)



●新製品 ●部品販売・修理等

売上高 465百万円

新製品やその他の区分に属さない製品及び部品販売・修理などが含まれています。

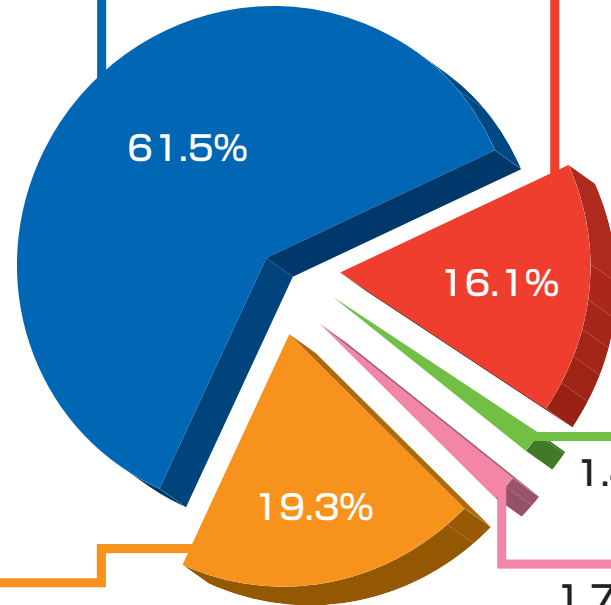


部品：ルーツプロフ



マイクロ波抽出装置(EXT-V160P06)

製品別売上高構成比



売上高合計 2,406百万円



●高圧洗浄車・ビルメンテナンス用清掃車・定置型高圧洗浄機

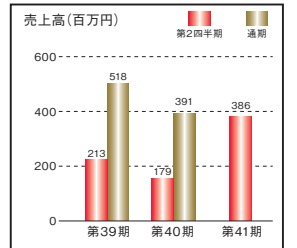
売上高 386百万円

高性能の実現と誰にでも使用できる使い易さで市場に浸透しています。強力吸引作業車につぐ当社第2の主力製品となっています。

- 〈用途〉
- 下水道管の洗浄
 - ビル配管システムのメンテナンス
 - 熱交換器の清掃



高圧洗浄車(JS-03W1518D)



●粉粒体吸引・圧送車

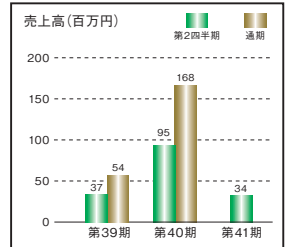
売上高 34百万円

吸引機能と加圧圧送機能を組み合わせ、粉粒体の長距離・高揚程輸送を行います。

- 〈用途〉
- 石灰・セメント等粉体原料の回収・リサイクル
 - 焼却灰の回収運搬



粉粒体吸引・圧送車(NS-16BVYT)

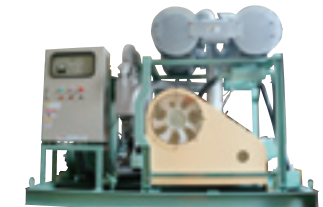


●定置型吸引機

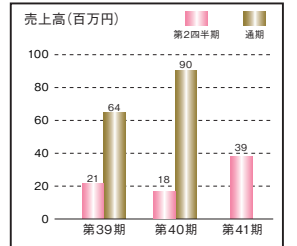
売上高 39百万円

当社技術の原点となる製品です。工場での環境改善や省力化などに活用されています。

- 〈用途〉
- 塗装プラストの回収
 - 工場内清掃
 - フライアッシュの回収



乾式定置型吸引機(NEL-75SV)



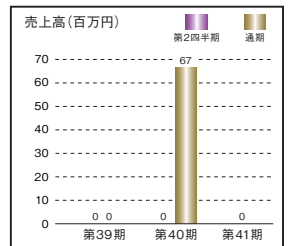
●汚泥脱水機(車) (当第2四半期に売上はありませんでした)

多様な汚泥の脱水が可能な遠心脱水方式やベルトプレス他、ニーズに合った脱水システムが可能です。

- 〈用途〉
- 建設汚泥の脱水・リサイクル
 - 中間処理施設での脱水
 - 生コン汚泥の脱水・リサイクル



汚泥脱水車(AG-06CF)



電柱建柱穴掘削用吸引作業車 (SME-O3BV)

電柱を建てる際に出る土砂を回収するために当社の吸引作業車が使用されています。また、圧縮空気による掘削方法を開発しました。



作業風景



| 従来方法 | 新しい方法 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 地中の配管、配線等を破損しないよう試掘作業を手掘りする。 ● 作業員が穴に入り試掘を行い、土砂を排出する。 ● 大型ドリルで掘削する。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 圧縮空気を使い掘削する。 ● 吸引作業車で回収する。 |
| | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ● 作業効率向上 ● 安全性向上 |

特徴

●掘削土砂量の低減を実現!

掘削穴に作業員が入る必要が無く、必要最小限の掘削が可能

●3tonシャーシに架装しコンパクトな車体を実現!

狭い路地や、歩道内での作業が可能

●低騒音化を実現!

低騒音車であるSME型車をベースとし、さらに配管部に防音カバーを設置し低騒音化を実現

重慶耐德山花特種車(中国)との技術提携

平成22年11月に重慶耐德山花特種車有限責任公司(以下、耐德山花)との技術提携と同時に、中国市場の開拓のため受注いただいたデモ車(吸引作業車、高圧洗浄車各1台)を4月に納入しました。

デモ車現地組立指導(4月6日~24日)

当社技術指導員3名が現地に行き、組立指導、操作指導、製品説明、本塗装後の最終検査を指導しました。



操作説明



製品説明



デモ車: 吸引作業車(MP-06BVP)



デモ車: 高圧洗浄車(JS-06S1820)

技術研修(8月23日~9月4日)

耐德山花の従業員3名が研修のため、当社に来社しました。明見工場では吸引作業車、高圧洗浄車の製造工程の研修を行いました。

今年の末から現地生産が始まります。



研修風景



首席エンジニア

環境研究所副所長

製造部組立班長

研修後の記念撮影



超強力吸引作業車 「パワープロベスター」がテレビ番組「ほこ×たて」で3度対決!

番組名 フジテレビ『世界で誰も見たことがない対決SHOW ほこ×たて』

番組内容 「矛盾」をテーマに「何でも吸い取る吸引作業車」と「くつついたら絶対に取れないもの」が対決したら、どちらが勝つのか!?!という対決実験を行う知的バラエティ番組



撮影製品 株式会社総社クリーンメンテナンス様所有 パワープロベスター TT-13BWP (風量125m³/min)

4月25日放送 VS① 絶対に取れない吸盤 (株式会社石井硝子工業様 フレキシブルパワー) 結果 敗北
— リベンジマッチ —

5月2日放送 VS② 絶対に取れない磁石 (株式会社マグナ様 ネオジム磁石) 結果 勝利

9月12日放送 VS③ 絶対に取れない吸盤 (株式会社石井硝子工業様 フレキシブルパワー) 結果 勝利

撮影風景



放映の一コマ

VS ①

VS ②

VS ③



対決実験以外に「こんなすごい吸引力がある!」という実験も多数放映され、全国の方々にご覧いただきました。



● 会社の概要

設立年月日 昭和46年9月1日
 資本金 313,700,000円
 従業員数 158名
 事業内容 強力吸引作業車、高圧洗浄車等
 環境整備機器の製造販売

● 役員

代表取締役会長 山本 吾一
 代表取締役社長 山口 隆士
 常務取締役 佃 維男
 取締役 山本 琴一
 常勤監査役 沖田 雅夫
 社外監査役 西岡啓二郎
 社外監査役 平井 雄一

● 事業所

本社 〒781-5101 高知市布師田3981-7
 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-5211
 明見工場 〒783-0007 高知県南国市明見913-11
 TEL (088) 864-1506 FAX (088) 864-1167
 技術センター 〒783-0007 高知県南国市明見898-20
 TEL (088) 864-1771 FAX (088) 864-2032
 東日本支社
 東京支店 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-1 アンソレイエ・オオタ601号
 TEL (03) 3667-7330 FAX (03) 3667-7333
 東北・北海道支店 〒982-0012 仙台市太白区長町南4-12-27 NS泉崎2階
 TEL (022) 248-2991 FAX (022) 248-2995
 千歳営業所 〒066-0043 千歳市朝日町8-1206-51 釜田ビル2階
 TEL (0123) 42-6661 FAX (0123) 42-6650
 名古屋支店 〒452-0809 名古屋市西区花原町40
 TEL (052) 501-3171 FAX (052) 501-3095
 西日本支社
 大阪支店 〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2-2-43
 TEL (072) 653-1136 FAX (072) 653-1350
 中四国支店 〒739-0026 東広島市三永2-8-16 太田ビル1階
 TEL (082) 426-2131 FAX (082) 426-2133
 福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神3-10-1 天神源氏ビル6階
 TEL (092) 761-7761 FAX (092) 761-7760

● 株式の状況

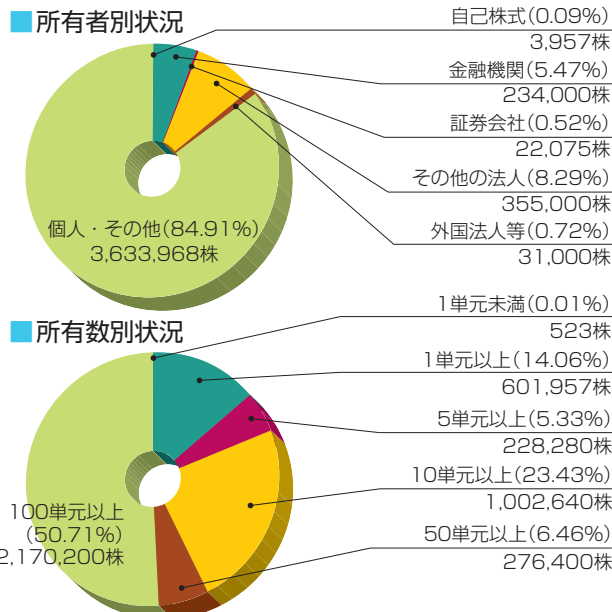
会社が発行する株式の総数 13,520,000株
 発行済株式の総数 4,276,043株
 (自己株式3,957株を除く)
 株主数 537名

大株主

| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|------------------|----------|--------|
| 兼松エンジニアリング従業員持株会 | 465,000株 | 10.87% |
| 三谷浩溢 | 327,200株 | 7.65% |
| 山本琴一 | 323,000株 | 7.55% |
| 株式会社扇港鋼業所 | 251,000株 | 5.87% |
| 山口隆士 | 233,640株 | 5.46% |
| 山本吾一 | 202,200株 | 4.73% |
| 柳川裕司 | 148,200株 | 3.47% |
| 株式会社四国銀行 | 117,000株 | 2.74% |
| 坂本洋介 | 102,960株 | 2.41% |
| 板垣周 | 83,000株 | 1.94% |

(注) 持株比率は、自己株式(3,957株)を控除して計算しております。

● 株式分布状況



●株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-176-417

(インターネットホームページURL)

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告掲載新聞 日本経済新聞

上場証券取引所 大阪証券取引所市場第2部

 兼松エンジニアリング株式会社

KANEMATSU ENGINEERING CO.,LTD.

本社 高知市布師田3981番地7 TEL:(088)845-5511 FAX:(088)845-5211

<http://www.kanematsu-eng.jp/>

 
古紙配合率100%再生紙
このビジネスレポートは、環境に配慮し、再生紙と大豆油インキを使用しております。